

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第52期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	ケル株式会社
【英訳名】	KEL CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 高橋 和良
【本店の所在の場所】	東京都多摩市永山6丁目17番地7
【電話番号】	042(374)5810（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 三國 武幸
【最寄りの連絡場所】	東京都多摩市永山6丁目17番地7
【電話番号】	042(374)5810（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 三國 武幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第51期 第2四半期 連結累計期間	第52期 第2四半期 連結累計期間	第51期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	5,094,189	4,547,491	9,697,893
経常利益(千円)	684,394	532,786	1,134,031
四半期(当期)純利益(千円)	399,918	314,797	684,714
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	348,050	361,760	722,871
純資産額(千円)	9,062,686	9,549,011	9,382,025
総資産額(千円)	12,787,740	13,821,296	13,050,954
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	27.06	21.51	46.34
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	70.9	69.1	71.9
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	858,170	755,777	1,625,258
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	378,159	715,330	1,207,373
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	214,047	193,710	189,689
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,913,165	2,222,539	2,352,871

回次	第51期 第2四半期 連結会計期間	第52期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益(円)	13.40	17.21

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び子会社2社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策による期待感から、株価上昇や円安による輸出環境の持ち直しを背景に企業収益の回復や個人消費の消費者マインドの改善等の動きがみられたことから底固く推移し、緩やかな景気の回復が見られました。

一方で、米国金融政策の縮小により新興国の経済は減速感が強まり、世界経済の成長の鈍化も懸念され、先行きの見通しは依然として不透明な状況が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界は、自動車電装市場やスマートフォン、タブレット端末向けの需要を受けて、一部情報通信機器市場は好調に推移するものの、企業は設備投資に対する慎重な姿勢を崩しておらず、市場全体は厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは注力市場への積極的な営業活動を展開するとともに、生産性の向上によるコスト削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は45億47百万円（前年同四半期比10.7%減）、利益面につきましては営業利益5億6百万円（同25.8%減）、経常利益5億32百万円（同22.2%減）、四半期純利益3億14百万円（同21.3%減）となりました。

なお、当社グループは、単一セグメントに属するコネクタ、ラック、ソケット等の製造・販売を行っているため、セグメント別の記載を省略しております。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億30百万円減少（前年同四半期は2億61百万円の増加）し、当第2四半期連結会計期間末には22億22百万円（前年同四半期末は19億13百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は7億55百万円（前年同四半期は8億58百万円の獲得）となりました。これは、法人税等の支払額1億86百万円及びたな卸資産の増加額1億5百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上5億32百万円、減価償却費の計上3億66百万円及び売上債権の減少額1億82百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は7億15百万円（前年同四半期は3億78百万円の使用）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出7億6百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は1億93百万円（前年同四半期は2億14百万円の使用）となりました。これは、長期借入れによる収入1億円があったものの、配当金の支払額1億19百万円、自己株式の取得による支出76百万円及び社債の償還による支出60百万円があったこと等によるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2億32百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5)主要な設備

新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第2四半期連結累計期間に著しい変動があった設備は、次のとおりであります。

(新設)

会社名(所在地)	セグメントの名称	設備の内容	完了年月
提出会社 山梨事業所 (山梨県西八代郡市川三郷町)	第一製造部	事業所建屋他	平成25年9月

(注) 1. 単一セグメントのため、事業部門の名称を記載しております。

2. 南アルプス市にある山梨事業所は、「南アルプス事業所」に改称し、部品加工を専門に行う事業所として操業を継続しております。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	63,000,000
計	63,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	15,486,000	15,486,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	15,486,000	15,486,000		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	15,486	-	1,617,000	-	1,440,058

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
菊水電子工業株式会社	神奈川県横浜市都筑区東山田1-1-3	1,025	6.61
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	729	4.70
小林寛子	東京都大田区	619	3.99
ケル社員持株会	東京都多摩市永山6-17-7	449	2.89
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区内幸町1-1-5 (東京都中央区晴海1-8-12)	429	2.77
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1-6-6	410	2.64
橋本幸雄	東京都府中市	320	2.06
橋本悟	東京都府中市	290	1.87
山崎万希子	東京都大田区	281	1.81
三井住友海上火災保険株式会社	東京都千代田区神田駿河台3-9	230	1.48
計	-	4,782	30.88

(注) 上記のほか、当社所有の自己株式944千株(6.10%)があります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 944,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,454,000	14,454	-
単元未満株式	普通株式 88,000	-	一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	15,486,000	-	-
総株主の議決権	-	14,454	-

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」の「株式数」及び「議決権の数」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株、議決権の数が2個含まれております。
- 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式934株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) ケル株式会社	東京都多摩市永山 6-17-7	944,000	-	944,000	6.10
計	-	944,000	-	944,000	6.10

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,352,871	2,222,539
受取手形及び売掛金	3,506,430	3,287,178
電子記録債権	-	6,213
商品及び製品	519,545	599,794
仕掛品	32,900	45,614
原材料及び貯蔵品	488,430	516,685
その他	407,625	557,696
貸倒引当金	3,557	3,358
流動資産合計	7,304,245	7,232,363
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	929,696	2,251,545
機械装置及び運搬具(純額)	1,222,590	1,239,510
工具、器具及び備品(純額)	247,542	249,261
土地	1,171,754	1,171,754
建設仮勘定	499,147	628
有形固定資産合計	4,070,730	4,912,700
無形固定資産	57,796	57,287
投資その他の資産		
投資有価証券	557,099	601,391
その他	1,061,081	1,017,552
投資その他の資産合計	1,618,180	1,618,943
固定資産合計	5,746,708	6,588,932
資産合計	13,050,954	13,821,296
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,374,767	1,473,431
短期借入金	150,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	60,000	92,000
1年内償還予定の社債	400,000	380,000
未払法人税等	191,247	220,870
賞与引当金	192,882	199,326
役員賞与引当金	49,000	19,300
その他	392,338	852,703
流動負債合計	2,810,236	3,387,632
固定負債		
長期借入金	240,000	270,000
社債	320,000	280,000
退職給付引当金	257,013	272,066
その他	41,679	62,585
固定負債合計	858,693	884,651
負債合計	3,668,929	4,272,284

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,000	1,617,000
資本剰余金	1,440,058	1,440,058
利益剰余金	6,401,012	6,597,630
自己株式	166,822	243,416
株主資本合計	9,291,248	9,411,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,276	126,714
為替換算調整勘定	7,499	11,025
その他の包括利益累計額合計	90,776	137,739
純資産合計	9,382,025	9,549,011
負債純資産合計	13,050,954	13,821,296

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,094,189	4,547,491
売上原価	3,612,933	3,260,377
売上総利益	1,481,255	1,287,114
販売費及び一般管理費	798,724	780,738
営業利益	682,531	506,375
営業外収益		
受取利息	407	583
受取配当金	9,135	9,710
為替差益	-	19,277
その他	1,376	4,031
営業外収益合計	10,919	33,603
営業外費用		
支払利息	4,154	6,345
為替差損	4,855	-
その他	46	846
営業外費用合計	9,056	7,192
経常利益	684,394	532,786
特別損失		
固定資産除却損	7,444	17
投資有価証券評価損	352	-
特別損失合計	7,796	17
税金等調整前四半期純利益	676,597	532,769
法人税、住民税及び事業税	282,221	213,284
法人税等調整額	5,541	4,687
法人税等合計	276,679	217,971
少数株主損益調整前四半期純利益	399,918	314,797
四半期純利益	399,918	314,797

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	399,918	314,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,128	28,437
為替換算調整勘定	2,739	18,524
その他の包括利益合計	51,867	46,962
四半期包括利益	348,050	361,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	348,050	361,760
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	676,597	532,769
減価償却費	377,414	366,108
貸倒引当金の増減額(は減少)	85	198
賞与引当金の増減額(は減少)	18,357	6,370
役員賞与引当金の増減額(は減少)	26,800	29,700
退職給付引当金の増減額(は減少)	6,358	15,053
受取利息及び受取配当金	9,543	10,293
支払利息	4,154	6,345
為替差損益(は益)	2,143	197
固定資産除却損	7,444	17
投資有価証券評価損益(は益)	352	-
売上債権の増減額(は増加)	98,944	240,606
たな卸資産の増減額(は増加)	174,659	105,031
仕入債務の増減額(は減少)	281,826	32,914
その他	87,183	116,870
小計	1,175,319	937,894
利息及び配当金の受取額	9,615	10,279
利息の支払額	4,181	6,249
法人税等の支払額	322,583	186,146
営業活動によるキャッシュ・フロー	858,170	755,777
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	364,743	706,846
投資有価証券の取得による支出	11,471	298
貸付金の回収による収入	1,240	1,259
保険積立金の積立による支出	2,185	7,879
その他	1,000	1,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	378,159	715,330
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	-	38,000
社債の償還による支出	38,000	60,000
自己株式の取得による支出	420	76,594
配当金の支払額	175,627	119,115
財務活動によるキャッシュ・フロー	214,047	193,710
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,091	22,930
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	261,871	130,331
現金及び現金同等物の期首残高	1,651,294	2,352,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,913,165	2,222,539

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	67,706千円	-
支払手形	2,086	-

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給料	227,010千円	238,935千円
賞与引当金繰入額	80,438	71,538
減価償却費	26,049	21,152
役員賞与引当金繰入額	28,200	19,300
退職給付引当金繰入額	5,148	6,647

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,913,165千円	2,222,539千円
現金及び現金同等物	1,913,165	2,222,539

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月7日 取締役会	普通株式	177,311	12	平成24年3月31日	平成24年6月12日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月7日 取締役会	普通株式	59,098	4	平成24年9月30日	平成24年12月6日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月7日 取締役会	普通株式	118,179	8	平成25年3月31日	平成25年6月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月8日 取締役会	普通株式	58,164	4	平成25年9月30日	平成25年12月6日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間
(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは、単一セグメントに属するコネクタ、ラック、ソケット等の製造・販売を行っているため、記
載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益	27円06銭	21円51銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	399,918	314,797
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	399,918	314,797
普通株式の期中平均株式数(株)	14,774,975	14,634,890

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

中間配当による配当金の総額 58,164千円
1株当たりの金額 4円
支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年12月6日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

ケル株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

青柳 淳一

印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

伊藤 治郎

印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているケル株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ケル株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。